

Global Space & Technology Convention (GSTC) 2017

参加報告

2017年3月1日



葛岡 成樹



© SSTA

目次

概要.....	1
感想.....	1
主な議論.....	2
ちょっと一言.....	2

概要

シンガポールの宇宙工業会である、Singapore Space & Technology Association (SSTA)主催の第9回 Global Space & Technology Convention 2017 が2017年2月22日(木)と23日(金)にシンガポール・マリオットホテルにて開催された。

今年は SSTA が発足してから10周年ということで、昨年に比べてプレゼンテーションが幅広く充実していた。話題はシンガポールの次の衛星といった技術的・ビジネス的な話題まで広くカバーしており、2週間前に米国で開催された SmallSat Symposium に比べて、話題の重複もなく広範囲であり充実していた。

参加者は300人程度と、昨年とほぼ同じ。参加者の多くはシンガポールからであったが、欧州からの参加者も多かった。日本からは JAXA 理事長、内閣府参事官がそれぞれパネル出席・講演した。日本からの参加者は全部で15名程度。一方昨年ビデオ講演していた中国が、官民の講演・参加者とも今年はほとんど目立たなかった。また今年は Israel Aerospace

Industries (IAI)などイスラエルから官民が参加していた。

展示は全部で10社とこじんまりしているなか、日本からは三菱電機と NEC の2社がそれぞれ出展していた。

感想

毎年のことながら、この会議に出席するとシンガポール宇宙ビジネスの成長スピードに圧倒される。2年前にはシンガポール初の光学地球観測(EO)衛星 TeLEOS-1 の計画説明があり、昨年にはその打上報告と初画像のお披露目があった。そして今年にはさっそく次号機として SAR を搭載した TeLEOS-2 の計画が発表された。またそれ以外にも、昨年打上報告があった実験衛星 VELOX-II をベースにした低軌道 EO 衛星向けテレメトリ・コマンドサービスである Inter-Satellite Data Relay System (IDRS) を AddValue という会社が発表した。このようにシンガポール企業の積極的・スピード感あるビジネス展開がこの会議の主眼である。

<以下省略>

主な議論

<以下省略>

ちょっと一言

シンガポール出張は、食事が楽しみの一つ。マレー、中華、インド、英国の食事が楽しめる。屋



台村ホーカーズもあるが、今回は日本でも最近増えたシンガポールチキンの店へ。シンガポール在の人に教えてもらった地元の人向けの店であった。スチームとローストの鶏肉がおいしいのはもちろん、鶏からとったスープとそれで炊いたライスが滋味あふれている。あわせてフィッシュヘッドカレーも満喫した。これだからシンガポール出張はやめられない。

本報告書へのお問い合わせは：



株式会社 サテライト・ビジネス・ネットワーク

<http://sat-biznet.com>

葛岡 成樹

<http://sat-biznet.com/contact-us/>



ユーロコンサル日本事務所

<http://www.euroconsult-ec.com>

葛岡 成樹

